

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)舞鶴上安パーク 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.7
Q1 室内環境					0.40		-		3.1
1 音環境				3.2	0.15		-		3.2
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	-		
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	-		
2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音		グラスウールを計画した。		4.0	0.20	4.0	-		
2 温熱環境				2.6	0.35		-		2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50		-		
1 室温				3.0	0.50	3.0	-		
2 外皮性能				3.0	0.17	3.0	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.33		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				3.0	0.25		-		3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.50		-		
1 昼光率				3.0	-	3.0	-		
2 方位別開口				3.0	-	3.0	-		
3 昼光利用設備				3.0	1.00	3.0	-		
3.2 グレア対策					-		-		
1 昼光制御				3.0	-	3.0	-		
3.3 照度				3.0	-	3.0	-		
3.4 照明制御				3.0	0.50	3.0	-		
4 空気質環境				4.0	0.25		-		4.0
4.1 発生源対策				5.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の内装建材を使用した。		5.0	1.00	5.0	-		
4.2 換気				3.0	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	-		
2 自然換気性能				3.0	-	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	-		
4.3 運用管理				3.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御				3.0	0.50		-		
Q2 サービス性能					0.30		-		3.2
1 機能性				3.6	0.40		-		3.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				3.6	0.30		-		
1 広さ感・景観		売り場を360mとした。		5.0	0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33		-		
3 内装計画				3.0	0.33	3.0	-		
1.3 維持管理				4.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い建材を計画した。		5.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		ダンボール庫・分別庫等のスペースを確保している。		4.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30		-		2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				2.8	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-		

3	対応性・更新性		3.0	0.30		-	3.0
	3.1 空間のゆとり		3.0	0.30		-	
	1 階高のゆとり		3.0	0.60		-	
	2 空間の形状・自由さ		3.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30		-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40		-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30		-	1.7
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30		-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40		-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30		-	2.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		1.0	0.50		-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-		-	3.4
LR1	エネルギー		-	0.40		-	3.7
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPIを0.92とした。	3.7	0.20		-	3.7
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10		-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEIを0.74とした。	4.2	0.50		-	4.2
4	効率的運用		3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価		-	-		-	
	4.1 モニタリング		-	-		-	
	4.2 運用管理体制		-	-		-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30		-	3.3
1	水資源保護		3.0	0.20		-	3.0
	1.1 節水		3.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.4	0.60		-	3.4
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	磁器質タイル、ビニル系床材	4.0	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材を容易に分別できるように計画した。	5.0	0.20		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.20		-	3.6
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	F☆☆☆☆を計画した。	5.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	
	1 消火剤		-	-		-	
	2 発泡剤(断熱材等)		-	-		-	
	3 冷媒		3.0	1.00		-	
LR3	敷地外環境		-	0.30		-	3.1
1	地球温暖化への配慮	一般的な計画とした。	3.9	0.33		-	3.9
2	地域環境への配慮		2.6	0.33		-	2.6
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制	適切な量の駐車台数を計画した。	5.0	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮		2.8	0.33		-	2.8
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1 騒音		3.0	0.33		-	
	2 振動		3.0	0.33		-	
	3 悪臭		3.0	0.33		-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
	2 砂塵の抑制		-	-		-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制		2.3	0.20		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70		-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)舞鶴上安パーク 新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	2.0			○	○	-		○	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	10.0		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○		
1.3.2 維持管理用機能の確保	8.0		-	○	○	○	○	-	○	○		○	○	-	○
2.4.1 空調・換気設備	1.0		-	○	-	-	-	-							
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	-	○	-	-	-	-							
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	1.0		-	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	1.0	-	-	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無				-											
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-									
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	○	-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	6.0														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	2.0		-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	-			
2.3.3 交通負荷抑制	4.0		1.0	-	1.0	1.0	1.0	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	1.0	-									
3.2.2 砂塵の抑制	2.0		2.0	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	1.0		-	1.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	0.5	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m ² K)	窓システム 4.0	屋根 2.0	外壁 2.0
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	ηAC
床	ηAH		
屋光率	1.5%		
自然換気有効開口面積率	3.3%		

3.1.1 屋光率
4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	6.0㎡/人	病床	8.0㎡/床	シングル	15.0㎡	ツイン	22.0㎡
--------	--------	----	--------	------	-------	-----	-------

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	30.0 VA/㎡
---------	-----------

1.2.1 広さ感・景観

天井高	2.5 m
-----	-------

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	0.5%	レストスペース	2.0%
------------	------	---------	------

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	30年
--------	-----

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	20年
--------	-----

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	0年
--------	----

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	0年
--------	----

3.1.1 階高のゆとり

階高	3.4 m
----	-------

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	30.0%
-------	-------

3.2 荷重のゆとり

床荷重	4000 N/m ²
-----	-----------------------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	34%	建物緑化指数	7%
--------	-----	--------	----

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	20%	水平投影面積率	6%	地表面対策面積率	6%	舗装面積率	3%
-----	-----	---------	----	----------	----	-------	----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	0.92	断熱等性能等級	等級2 相当
----------------------	------	---------	--------

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	80.0%	採光を満たす住戸数	80.0%
		通風を満たす教室数	80.0%	通風を満たす住戸数	80.0%

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI _m	非住宅	0.75	住宅	-	太陽光	9.2kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
----------------------	-----	------	----	---	-----	-------	------	------	-----	------

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	0.0%
-------	------

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	磁器質タイル	エコマーク商品	ビニル系床材	自治体指定の特定品目等	-
--------	--------	---------	--------	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	5.0%
------	------

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
---------------	--	--------------	--

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	1430
---------------	---	--------------	------

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	8
---------------	---	--------------	---

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	44%	隣棟間隔指標Rw	0.40
-------	-----	----------	------

地表面対策面積率	16.0%	屋根面対策面積率	16.0%	外壁面対策面積率	0.0%
----------	-------	----------	-------	----------	------

見付面積S _b	40,000㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	200 m	基準高さH _b	450 m
--------------------	---------	------------------------------	-------	--------------------	-------

緑地	430㎡	水面	㎡	保水性対策面	300㎡	高反射対策面	200㎡	再帰性反射対策面	300㎡
----	------	----	---	--------	------	--------	------	----------	------